

## 4. 月面探査車の開発 2029年打ち上げを目指す

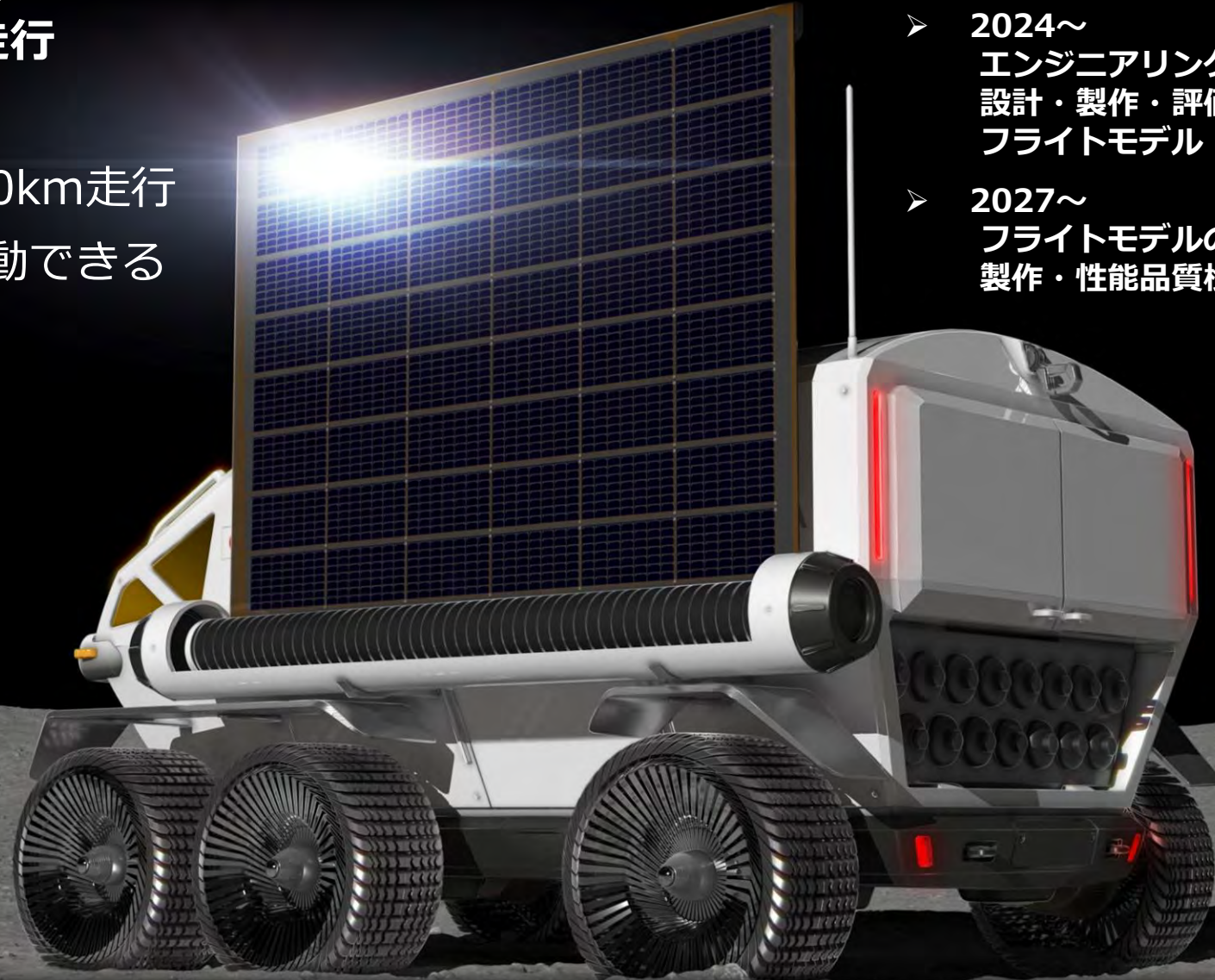
- トヨタ次世代燃料電池による  
トータル1万キロの月面走行

⇒水素・酸素 満充填で1,000km走行

⇒クルーが安全に確実に移動できる

走行性能と自働運転機能

- 2019～2024 試作車制作と評価
- 2024～  
エンジニアリングモデルの  
設計・製作・評価、  
フライトモデル（実機）の設計
- 2027～  
フライトモデルの  
製作・性能品質検証



# 第7の大陸への挑戦

TOYOTA

-170~120°C

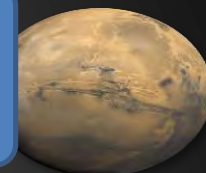
宇宙放射線曝露

重力 地球の1/6

真空環境

レゴリス不整地





未来の月面社会を考える = 技術や市場の創出

地球

火星

ホームプラネット

第2の地球

The Moon for All

【テストフィールド】  
 2040ごろの月面社会  
 持続可能な探査活動（水氷探査）  
 地産地消・再生エネルギー（水素社会）  
 国際協力  
 仲間づくり・人材育成

- ☆技術を鍛える道場
- ☆水素社会の実現



- ★もっとよいクルマづくり
- ★持続可能なまちづくり



美しい地球を未来に引継ぐ  
 いいまち、いい社会

- ☆火星への中継地
- ☆探査・移住の実証



- ☆探査・移住する



人類の活動領域の拡大

起点

月